

## 労働災害の約8割は、停車時に発生

# 停車中の危険は、すぐ側に

### 雪道を歩行中に滑って転倒

労働災害は、いつ発生するか分かりません。しかし、事前の対策によりその多くは防止できるでしょう。今回は両手に荷物を持って雪道を歩行中、滑って転倒しそうになったヒヤリ・ハット事例および対策を紹介します。

#### 災害例

##### 雪道で滑り横転しそうになった

右手にバッグ、左手に段ボール箱を持ちながら、事務所から駐車場に向かって平坦な雪道を歩いている途中、凍結していた道で足を滑らせ仰向けに転倒しそうになった。



#### 原因

- 雪の下の路面が凍結していることをよく確認せずに歩いた。
- 除雪や路面下の氷の除去を行っていなかった。

#### 対策

- 転びそうになった時にバランスが取れるよう、両手に荷物を持たない。
- 事務所から駐車場までの路面（動線上）を除雪・融雪しておく。
- 作業に適した、滑りにくい「履物」を履く。
- 時間に余裕を持った行動を心がける。

### 冬季は積雪や凍結した路面によって転倒が増加！滑りにくい「歩き方」を知ろう

歩き方	理由
歩幅は小さく。	力が路面の真下に掛かり、摩擦が増す。
靴の裏全体を路面につける。	路面との接触部分が多ければ、摩擦が増す。
左右の足幅を少し開ける。	少し開けた方が安定する。
体を少し前に。	背中を反ると重心が後ろになり、滑りやすくなる。
急がず焦らず余裕を持つ。	焦ると歩幅が大きくなり、バランスが崩れやすい。

### 歩幅を狭め、すり足気味に歩きましょう！

出典：厚生労働省「職場のあんぜんサイト」、厚生労働省京都労働局「積雪・凍結した通路・路面による転倒災害を防止しましょう」